

豊かな社会を実現するロボットを目指して

大和における ロボットの未来

人工知能(AI)やロボットを日常的に活用する日ももう間近。その注目度も一層高まる中、大和市が参画する「さがみロボット産業特区」の取組みと今後の展開について理解し、現在ロボットがどの程度進化しているのか実際に手に取り、見て触って体感する。我々人間は今後ロボットとどのように関わり、受け入れ、活かすべきなのか。全5回の講座を通じその実態に五感で迫る。



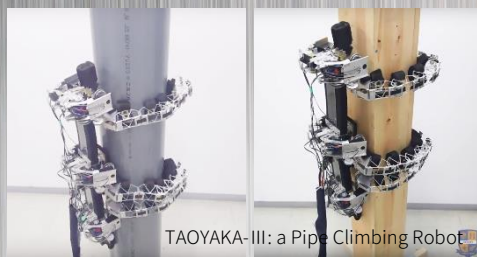
講師：法政大学 理工学部 電気電子工学科 教授 伊藤 一之氏
略歴：2002年3月 東京工業大学大学院 博士後期課程修了 博士(工学)。2002年4月 岡山大学 工学部 助手。2005年4月 法政大学 工学部 専任講師を経て、現在、法政大学 理工学部 電気電子工学科 教授。消防庁長官優秀賞(消防防災機器等の開発改良)、競基弘賞(学術業績賞)、日本ロボット学会研究奨励賞などを受賞。知能ロボット、レスキューロボットの研究に従事。



URARAKA IV: a Wall Climbing Robot



TAOYAKA-S II: a Pipe Climbing Robot with a Soft Body



TAOYAKA-III: a Pipe Climbing Robot

▶▶▶ 講義内でご紹介予定のロボット

いずれも **日曜日 14:00~15:30 (全5回)**

第1回 1月13日

基調講演：さがみロボット産業特区の取組みと今後の展開
神奈川県さがみロボット産業特区推進センター センター長 内田 享子氏

第2回 1月20日

ロボットと人工知能 - ロボットは人間を超えられるのか -

第3回 1月27日

ロボットの知能を作る - 乱数から知能を作る仕組み -

第4回 2月3日

生物規範型ロボット - 自然界で働くロボットを目指して -

第5回 2月10日

災害救助ロボット - 現状と今後の課題 -

会場：大和市文化創造拠点 シリウス 6階
生涯学習センター 601 講習室
対象：大和市内在住・在勤・在学の方
参加費：2,000円 (全5回分)
(学生 1,000円 ※学生証を持参下さい)

定員：40名(定員を超えた場合は抽選)

持ち物：筆記用具

申込み：往復はがきにてお申込み

※在勤または在学の方はその旨をはがきにご記入ください。
※往復はがき1枚につき1名の申込みとします。
※定員を超えた場合は抽選となります。
※当落結果は開催1週間前をめどにお知らせします。
※講座3日前までにご連絡のない場合は、お問合せください。
※天候や交通機関の運行状況および、その他不可抗力により開催が中止となる場合がございます。

62円 往信

2 4 2 0 0 1 6

大和市大和南一丁目8番1号
大和市文化創造拠点シリウス6階
大和市生涯学習センター 行

※白紙※
何も書かないでください

62円 返信

①講座名
②住所
③氏名(ふりがな)
④年齢の年代
⑤電話番号
上記の内容を漏れなく記載ください。

郵便番号・住所・氏名

アクセス 小田急江ノ島線・相鉄本線
大和駅徒歩3分



※駐車場の数に限りがありますので公共交通機関でのご来場をお願いいたします。

お問合せ 046-261-0491

主催：やまとみらい(大和市文化創造拠点 指定管理者)
大和市生涯学習センター

2018年12月15日(土)申込締切(必着)